NTTドコモが実現したデータ民主化と データ エージェントへの 挑戦



**Proprietary** 





吉田 祥平

データプラットフォーム部 担当部長



藤平 亮

データプラットフォーム部 Principal Data Scientist



## アジェンダ

01 データ民主化の課題と挑戦

ドコモのデータ資産 圧倒的に使いやすいデータ活用環境

02 データ プラットフォームの概要

システム概要 プラットフォームエンジニアリング

03 事例: お客様の声アプリ

BigQuery ML Iceberg

# 01. データ民主化の課題と挑戦

### ドコモのデータ資産

dポイントクラブ会員数

### 日本最大級の

会員 顧客基盤

携帯電話サービス契約数 約 7,200 万※1※2

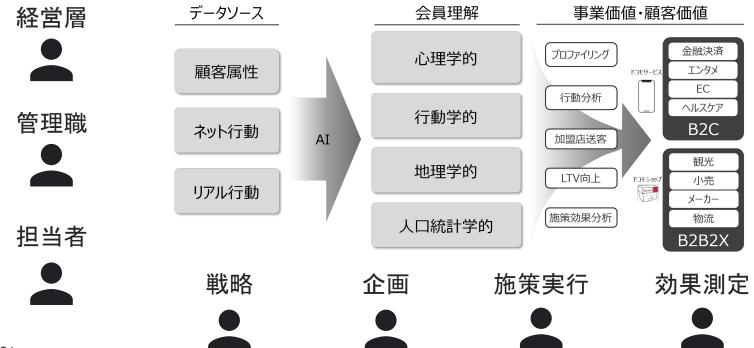
会員一人ひとりに紐づく多種多様なデータ ※3



※1 2025 年 3 月末時点 ※2 home5G, モジュール除く ※3 個人を特定するものではございません。

# データ活用のありたい姿

### あらゆる役割・業務で使いこなし、価値創出につなげている



## 現実

#### 理想

#### 現実(現場の声)

ビジネスのスピード

- 簡単に使える
- 待ち時間なし

依頼殺到で、、

データ抽出に2週間もかかるの!?

アクションにつながる分析

- 高解像度な顧客分析
- 最新技術の活用

自分でやるにも

プログラミングわからないしなぁ、、

スケール(あらゆる組織)

様々な業務の現場ニーズに 即した活用 ツールの使い方が難しくて 面倒だなぁ、、

## 解きたい課題と解決策



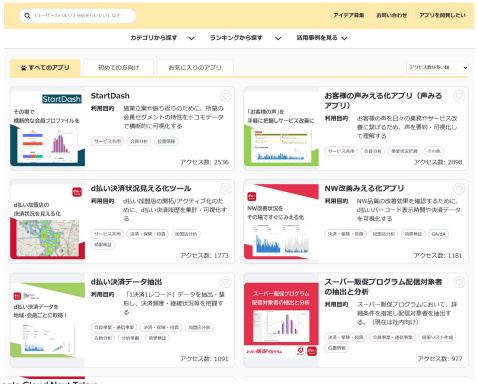
### データ活用までの期間を 9割削減したい!!

## 圧倒的に使いやすいデータ活用環境



### 「自分でできる!」と実感できる環境づくり

# 誰でも使えるための挑戦



1 誰もがすぐに使える

2 業務にあった活用メニュー

3 全社公開

## 効果

3,800 人

**MAU** 

74 万回

利用回数

30 万時間

稼働削減

**122** 

アプリ数

250 人

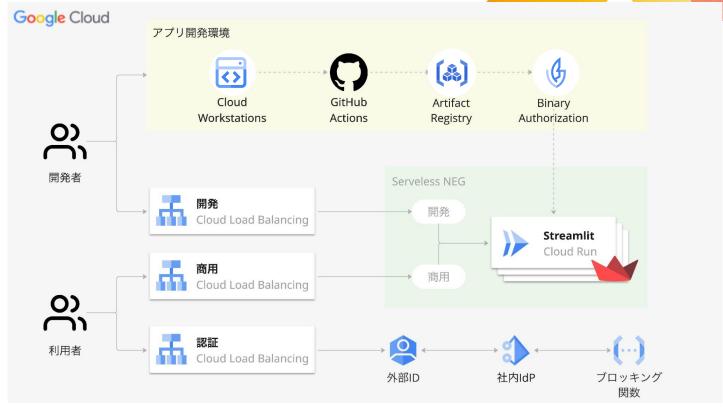
開発者数

200万回

デプロイ回数

# 02. データ プラットフォームの概要

# Streamlit in Google Cloud

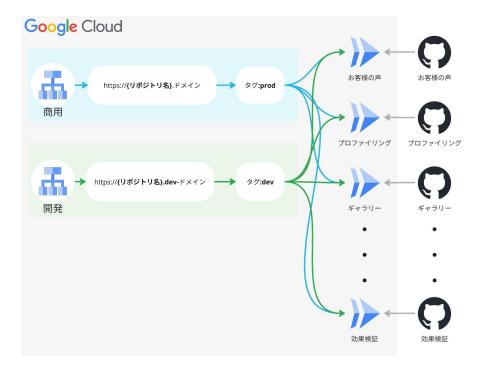


### たくさんの Streamlit アプリ



1 URLマップ x リビジョンタグ デプロイすると自動的に URL を割り当てる トイルを排除し手間を省く ことで、多くのアプリを生み出 す

2 Cloud Run のオートスケーリング ゼロスケールインによる圧倒的なコスト効率 「とりあえず作ってみよう」という文化を醸成





### つくりこまれたCI/CD

GitHub Actions

各リポジトリから、管理用のリポジトリワー クフローを呼び出すことで中央集権管理を 実現

2 DevSecOps

CD プロセスで、SAST やサプライチェーン 攻撃を対策することでセキュリティ強化と デプロイ自動化を両立

3 脆弱性管理

Google 公式の Python イメージを利用。 SBOM の作成、コンテナ スキャン、SLSA レベル評価により脅威ハンティングを可能 にする

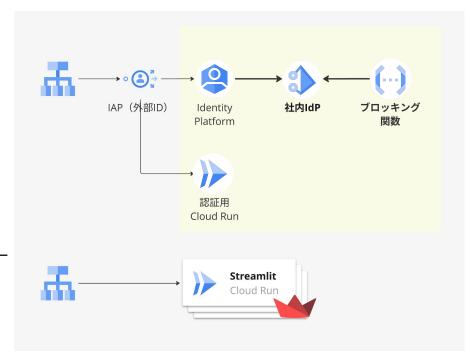
### みんなが利用できる

Proprietary

IAP x 外部 ID 認証

ユーザー登録不要で、誰でも利用が可能 誰でも、全てのアプリが利用可能

2 Cloud Run
ログインページを Cloud Run でセルフ ホスティング
Cloud Run Functions でブロッキング関数を利用し、ユーザー追加 / 認証時にログをカスタマイズ



03. 事例: お客さまの声アプリ

動画あり アーカイブ動画をご視聴ください

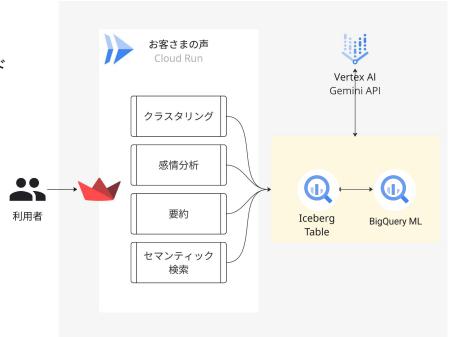
# お客様の声アプリの概要

### Streamlit の UI から Data Agent を利用

- LLM のワークロードは BigQuery ML (BQML) にオフロード
- コアロジックからの関心の分離

### 誰もがすぐに使える

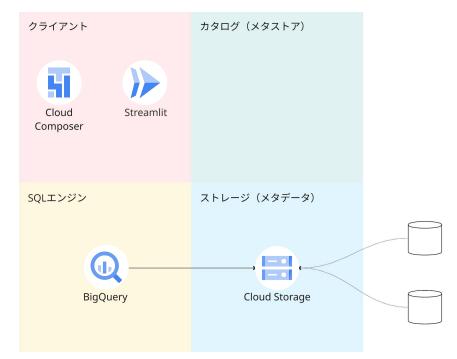
- より決定的な出力を得る
- 自律性よりも業務適用を重視



### データメッシュ

他の DWH と BigQuery tables for Apache Iceberg を介してデータ連携 データをサイロ化せず、BigQuery ML を活用

- ML.GENERATE\_EMBEDDING()
- VECTOR\_SEARCH()
- AI.FORECAST()



## BigQuery ML の 使いどころ

セマンティック サーチ

類似するお客様の声を検索し、 時系列トレンド予測 (TimesFM モデル)

クラスタリング

類似性に基づいてお客様の声をクラスタ化することで、全体を俯瞰する

感情分析

Remote Functions を経由で、 Gemini 2.5 Proでのテキスト生成

```
WITH params AS (
   SELECT.
     ml_generate_embedding_result AS guery_vector
   FROM ML.GENERATE_EMBEDDING(
     MODEL `embedding_model`,
      (SELECT query_text AS content),
     STRUCT("RETRIEVAL_QUERY" AS task_type)
), semantic_candidates AS (
    SELECT
     base.ID,
     base.TEXT,
     distance
    FROM VECTOR_SEARCH(
       TABLE `bgtable`, -- 検索対象のテーブル
        'RETRIEVAL_DOCUMENT_VECTOR', -- 検索対象のカラム
        (SELECT query_vector FROM Params), -- 検索文字列
       top_k => 50.
       distance_type => "COSINE",
       options => '{"use_brute_force":true}'
SELECT *
FROM semantic_candidates
WHERE distance < 0.4 -- 類似度の低いレコードを足切り
```





BigQuery ML





maxScale:

Cloud Run



Vertex Al Gemini API

### **Remote Functions**

### スケールアウト

BigQuery の Remote Functions では**バッチ内の行数指定** が可能。

Cloud Run Functions でもオート スケールの指定が可能。

データの I/O を考えると、バッチ推論よりも遥かに便利に大規模推論が実現できる。

### Data Agent 化

Gemini API へのクロスリージョン アクセスが可能

Cloud Run Functions 内にシステムプロンプトを指定し、構造化出力を定義

ポジネガ判定等、多くのユース ケースを実現

### より自律的な Data Agent へ



